

東北日報

刊休無中
本報社址 仙台市青葉区
電話 二二二二
代印所 仙台市青葉区
電話 二二二二

又々騰り出した

石城地方の米相場

精米所も青息ト息

雨のため出廻減り

石城郡内の米相場は既報のと云ふうなぎ上りの式配が又々尻上りに騰貴してきた。此の騰貴の幾分は又々二三日前より上騰し分の原因は今まで新米の出六日平米こく商組合で決つて来るのをアテに各精米所は相場は次の如くである。持米を賣り拂つてしまつた。▲上白米一グラム二十四が、数日連続雨天のため錢五厘▲中白二十四錢 郡山方面より来る新米の出▲並白二十三錢五厘▲田畑刈りが滞つて来た為めつくも白二十五錢▲陸奥も玄米さへない状態である。白二十三錢五厘▲つき麦が原因ならしいと十八錢▲平麦二十錢

平局の緊縮振り

簡保年金の奨励を

田村局長以下總動員で

勧誘に趣旨書を配布

平郵便局では現内閣の緊縮方針にもつき過般來より田村局長以下はその趣意の實施方法に就き協議を重ねて来たが此の程郡内各町村長、校長、郵便局長に次の如き趣意書を送り簡易保険郵便年金の加入募集を行ふ事になつた

前略 承知の通り政府に於きましては目下一般に行きつまる財政經濟を立て直すため公私經濟緊

縮の大運動を起し全國民金預金問題乃至は區會廢止に向つて生活改善運動問題など重大問題があり著を奨励して居ります。私今回演説會は勿論問題として互に出来る限りの節約就き新舊十二名の議員諸公を爲し貯蓄を勵行して國が執事を振ふので成行は方充實を圖ることに努め注目されてゐる。めねばならぬ大せつな秋である。考へ其貯蓄の方法としては夫々機關もあ六日の午後六時頃平驛前のりませうが簡易保険又は公衆電話に「羽の鳩」とま郵便年金を利用することつてゐるのを驛前水戸屋旅が新時代に適應した最良館の番頭さんが捕へて調べ

湯本區會議員等

區政に就ての大演説會

九日同町三座座に開催

時節柄成行注目さる

過般改選された湯本町字湯た處横須賀一四と足輪のあ本區の區會議員十二名は九の傳書鳩であるので目下飼日午後六時から同町三座座に於て區政問題の大演説會を開催する事となつたが同區には例の水道問題或は公金預金問題乃至は區會廢止に向つて生活改善運動問題など重大問題があり著を奨励して居ります。私今回演説會は勿論問題として互に出来る限りの節約就き新舊十二名の議員諸公を爲し貯蓄を勵行して國が執事を振ふので成行は方充實を圖ることに努め注目されてゐる。めねばならぬ大せつな秋である。考へ其貯蓄の方法としては夫々機關もあ六日の午後六時頃平驛前のりませうが簡易保険又は公衆電話に「羽の鳩」とま郵便年金を利用することつてゐるのを驛前水戸屋旅が新時代に適應した最良館の番頭さんが捕へて調べ

郡農會の

稲作品評會

郡内各地で

石城郡農會では大山技師以下大がかりで郡内の稲作品評會を各地で催す事になつた。皮きりとして次の各村に決定した

△迷子の傳書鳩

永戸、箕輪村▲十四五日上遠野、入遠野村

△各地の品評會

上遠野村では十七八の雨日稲作立毛品評會を開催

木村産科醫院の

藤本氏、博士に

愛知醫大に論文提出中

此の程教授會を通過

人工椎茸栽培

川部村で

平町新川町木村産科婦人科病院院長藤本順(三三)氏は母校の愛知醫大に「排還病比較藥理學的的研究」の論文を提出中であつたが此の程同大學の教授會を通過した旨六日朝同氏のもとに電報を以て通知あつたので同氏は愈々醫學博士の稱号を受ける事となつた

藤本氏は福岡縣小倉市の産で大正八年五月愛知醫大に卒業後三ヶ年間同校で研究を積み其の後母校で助教を奉職大正十五年朝鮮京城醫專の教授に豊間村字下町四家次郎方任せられて昨年三月辭職豊室から六日午後十一時頃其の後記木村醫院に副院長家二坪程を焼いて鎮院長を務めてゐた青年醫士が原因は蠶室のたき火の不始末

海中に電燈をついて

魚類を生け捕る

久ノ濱の新妻氏準備中

七濱では始めの催し

久ノ濱町新妻氏一氏は此の、殊に經費は極めて少額な程同沖合の海中に電燈をついて其の成績の如何に石城めて魚類を一定の場所に集め地方の漁業界に大なるセンめ之れを網で全部生け捕るセーシオンをまき起すもの方法を考案し目下準備中である。見られてゐる

▲平町婦人會總會

あるが石城の濱としてはこ平町婦人會では十一月三日うした漁獲法は始めてであ

遷宮記念の

切手賣切れ

捺印は七百通

平郵便局に於ける神宮式年

平郵便局に於ける神宮式年遷宮記念の切手繪葉書は二日午前中に一錢五厘七百枚三錢八百枚、繪葉書百七十組が全部賣れてしまつたが尚ほ記念スタンプ捺印は今七日まであるが六日迄の捺印数は書狀二十五通、繪葉書五百八十七通、官製ハガキ八十四通、合計六百九十六通であつた

落し主は誰

平署の拾得物

平署へ近日届出られた拾得物は左如のくである

▲小名濱町古港馬路上は同町下町地内で現金四圓三十錢入りの墓口を拾ふ

▲江名町上神白伊藤國藏は自宅浴場より金指輪一個を拾ひ届出つ

▲平町白銀町にて草野村新妻彌太郎は墓口入れ一圓三十錢を

▲平町銀治町宗像利定は四丁目にて二十五錢入りの墓口を

▲現金五圓二十八錢を好間村地内で拾ふ赤井村佐藤正次郎届け出る

▲内郷村綴草野トキは地内五十銀貨一枚

▲平町五丁目藤澤龜松は宮太字宮の澤で六十五錢

農園を整理

◇美しい花壇

石城郡神谷農事試験分場では、今園果樹園花壇等のク域整理をなす準備中であるが花壇の如きは美麗を極め四季變々の百花を咲かし研究用又は一般觀覽人の眼を喜ばす事にし草花の種類は八十餘種を植える筈だが此の程東京よりチユリツツ根根三百個を取寄せた

大浦組頭決定

石城郡大

浦消防組頭は過般來より

欠員中であつたが此の程同

村銀木傳氏に決定した

老爺の畑作荒し

山形縣

生れ當時石城郡神谷村上片

寄西山方の同居人佐藤正則

(六〇)は六日前一時ころ

内郷村字金谷地内の畑より

ナス其の他の野菜類を一背

負ひ窃取逃走せんとした處

有聲座の割引券あり

白銀町 丸山雜貨店

を平署員に逮捕されたが同

人の自白によると窃取した

野菜類を日頃懇意にする磐

城炭礦の某飯場におん禮の

爲にやるつもりであつたと

2×9=8×2×3
タ マ チ
ミ フ ミ

